

頼むから部屋探しより嫁さがし

愛知県男性が最優秀賞

アート不動産 お部屋探し川柳 第2回で応募1313点に大幅増

盛岡市本宮のアート不動産 櫻井大介社長は、第2回「お部屋探し川柳」の入賞作品を発表した。「引越し」をテーマに、くすつと笑える川柳を11月から募集。全国から1313作品が寄せられた。昨年の応募22作品をはるかに上回る中で最優秀賞に選ばれたのは、愛知県男性でペンネーム・ポチパパさんの「頼むから、部屋探しより、嫁さがし」。親心と世相を表し、共感する人も多いだろうと評価し

た。入賞した五つの川柳はのほり旗にし、4月14日まで4店舗に立っている。

「お部屋探し川柳」

企画。昨年初めて開催

た理由は不明という。



多数の応募を喜ぶ高橋さんと櫻庭さん(左から)＝盛岡本店で撮影

し、今年で2回目となった。11月27日に自社ホームページで募集を始めたところ、連日30通を超える応募があり、途中で一人一作品と制限をつけた。ホームページ以外の広報は一切しておらず、全国各地から多数応募が来た理由は不明という。

選考はまず20～50代の社員総出で行い、60作品まで絞った。その中から、テーマにしっかり沿った内容で人同士の温かみを感じられる作品を選んだ。

選考委員で資産管理部の高橋恵子さんは

「新たな門出への不安と期待など、引越しにはあらゆる感情が入り混じることを思い出した。どの作品も言い回しが絶妙だった」と入賞者をたたえた。

優秀賞となった神奈川県男性、はますだれさんの「利便良し、環境良しの、二刀流は、大谷翔平選手の投打二刀流をかけて岩手らしさが感じられると評価。同じく優秀賞で東京都男性の三太郎さんの「重いもの、ピアノと妻と、申告し」は、

引越し作業を面白くひねっている点を評価した。

佳作は、広島県男性でカラスの行水さんの

「部屋さがそ、無口な彼の、プロポーズと、

岡山県女性で片方だけのピアスさんの「荷造り旗を写した写真を贈る。

選考委員で同部の櫻庭裕也さんは「移転や住まいに対するさまざまな思いや率直な考え

を知られた。人生の転機となる引越しをサポートする者として、とても勉強になった」と話していた。

櫻井社長は「企画力や実行力、人が喜ぶことを積極的に実践する当社の空気を、のほり旗から感じてもらいたい。たくさんの人に親しみを持ってもらえたら」と期待していた。

「部屋さがそ、無口な彼の、プロポーズと、

選考委員で同部の櫻庭裕也さんは「移転や住まいに対するさまざまな思いや率直な考え

を知られた。人生の転機となる引越しをサポートする者として、とても勉強になった」と話していた。

櫻井社長は「企画力や実行力、人が喜ぶことを積極的に実践する当社の空気を、のほり旗から感じてもらいたい。たくさんの人に親しみを持ってもらえたら」と期待していた。